

# 仲間を増やす月間

## 実増めざして取り組みを継続

### 日野 富士にて終盤決起する

#### 達成と実増を五合目で祈願

秋の仲間を増やす拡大月間は、11月1日付で3959人の到達を築くことができました。新型コロナウイルスの影響を考慮して期間をずらした中野支部、日野支部は、11月も秋の拡大に取り組んでいます。この二支部を中心に月間の取り組みを報告します。

【日野・書記・三角幸太郎】月6日に「富士周辺観光バス ツアー」に71人で取り組みました。春の拡大月間では最終盤に



富士山をバックに、達成と実増を祈願して

ので、秋は標高でそれを上回る富士周辺にて決起を行なった次第です。

バス4台を手配し、車中では東京土建の制度や運動などをまとめたDVDを見て学習を行いました。富士急ハイランドで集合写真を撮り、「富士山5合目」「河口湖紅葉まつり」へそれぞれバスで出発。富士急ハイランド組とよじやま温泉組と合わせて4方面にわかれて秋の富士周辺を満喫しました。

この終盤決起で、仲間を増やす「拡大月間」への協力の呼びかけを強めました。コロナによるレク中止で仲間のつながりが薄まっていたが、この2週前の拡大中間分レクと今回の支部レクで、仲間のつながりを再度呼び戻そうとがんばりました。第8

### 中野 最後までやり抜く

#### 花やしきで打上げ予定

【中野支部・書記・上山将之通信員】感染症の影響で、例年より1カ月前スタートを遅らせた秋の拡大月間。平日夜間のほか、日曜行動にも取り組んでいます。11月6日には、すべての分会・ブロックで中間決起集会を開催。達成をめざして最後までやり抜く

ことを誓い合いました。この秋に限りませんが、加入の内訳をみると、圧倒的に入社に伴うもの。事業所対策の重要性や昼間行動の必要性を強く感じます。これを夜間行動に伝え返すことで、分会の活力につながります。大きな拡大成果にはつなが



明るく行動する仲間たち

っていませんが、対話材料としてインボイスは好適。また、対応を決めかねている事業所では、未加入の外注労働者と

は組織強化です。11月26日、浅草の花やしきで開催する拡

ともに相談会を設定するなど、対象者情報が広がっています。毎週火曜日夜間に設定している個別相談会へのつなぎも進み、組合員と組合との距離が縮まっています。夜間行動の中心

### 板橋 寄りそう行動で

#### 20年連続で全分会達成



嬉しい「目入れ」

秋の月間は、コロナ禍の影響から事業所からの加入が例年より減少しました。全体的に有力対象者が少ないなかでしたが、「公営国保料が高い」と土建国保への切り替える個人

や、まとまった健診を求める事業所などの問い合わせから、加入につながりました。9月後半に開催したとげんラリを結節点に、群会議オルク、事業所訪問、DM発送、新設法人への資料送付・訪問電話かけ、宣伝カー行動等を行いました。成果を積み上げました。分会の取り組みでは組合員訪問で対象者を掘り起し、寄り添いながら対話に注力しました。志村坂上分会では、新役員・群長が訪問行動へ参加してくれるようになり、今後につなげる月間となりました。

波と言われる感染状況となつていますが、その直前に行なうことができたこのバスレクを契機に拡大月間最終盤を乗り切って、春に続く「全分会達成」「支部目標達成」、そして数年ぶりの実増をめざして、日野支部は奮闘しています。

### 墨田 春、秋と続く絶好調

#### 実増率は驚異の3・32%

目標93人のところ、22人超過の115人となり、そしてなんと今回は春・秋どちらも

支部目標と全分会目標達成という、実に14年ぶりの快挙を成し遂げました。これは、墨田支部50周年の時以来です。さらに、1月時点の組織人数から88人の増加となつており、3・32%の実増という、こちらも驚異の数値。実増率は春に引き続き全支部中1位です。さらに、悲願であった



支部の間船組織部長（左）と立花分会の坂本分会長（右）

今「インボイス制度」がますます注目されるなど、組合の運動にも期待がかかっています。応えるためには、やはり多くの仲間の声が必要です。引き続き、仲間の仕事・暮らしを守る活動に取り組んでいきます。

〈訂正とお詫び〉  
第2406号(2022年11月1日発行)1面の葛飾支部・水元分会の記事で、系賀さんのお名前前に誤りがありました。正しくは「系賀之充さん」でした。お詫びして訂正いたします。